

## 内 容

### \* 2016年 年の瀬に思うこと

・・・協会実行委員の皆様にご原稿をお願いしました。

#### 1. 今年の願いごと

社会福祉法人ひつじ 大田 佳代

#### 2. 近況報告

社会福祉法人尾道のぞみ会 橋本 周治

#### 3. 一年が駆け足で過ぎていきます。

エスポアール出雲クリニック 高尾 由美子

#### 4. 来年もよろしくお祈りします。

NPO 法人たんぼぼの会 スローカフェタンポポ 安田 真里

### \* 第11回イタリア地域精神保健視察・研修 実施報告(2)

#### 1. イタリア地域精神保健視察ツアーの感想

公益財団法人正光会 御荘診療所

精神保健福祉士 福田 真理

#### 2. 第11回イタリア地域精神保健視察ツアーから思うこと

公益財団法人正光会 御荘診療所

看護師 三好 啓友

### \* 事務局からのお知らせ

#### 2016年度総会 実施報告

### \* 2016年 年の瀬に思うこと

・・・協会実行委員の皆様にご原稿をお願いしました。

#### 1. 今年の願いごと

社会福祉法人ひつじ 大田 佳代

「平穏無事に過ごせますように・・・」と手を合わせていたお正月からあつという間に12カ月。あと数日で2016年が終わります。願いのとおり、身体を壊すことなく無事に1年を終えることができるのはありがたいことと感謝しつつも、何もしていないのに1年が過ぎてしまったと後悔の気持ちもあります。利用者の方たちには目標とか課題とか言っていないながら、自分自身は目標もなく、なんとなく1日を過ごしているということに改めて気がつきました。目標に向けて進み、振り返り、また前に進む。この繰り返しが毎日の暮らしなんだなといまさらながら実感しています。

今年は協会の活動にほとんど参加することがありませんでした。来年はまた気持ちを新たに活動に参加したいと思います。

今年一年ありがとうございました。

2017年が皆様にとって良き年になりますように。



## 2. 近況報告

### 社会福祉法人尾道のぞみ会 橋本 周治

この頃めっきり寒くなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は寒さにめっぽう弱く、カイロを何個も貼って、服も着膨れするぐらい着込んで冬を乗り切っています。

さて、先日当会では嬉しいニュースが飛び込んできました。当会の事業所で栽培している青ネギが品評会で一等を獲得したということです。もしかしたら、うちしか出品していないんじゃないかという話もありますが、とにかく明るい話題に喜んでいるところです。

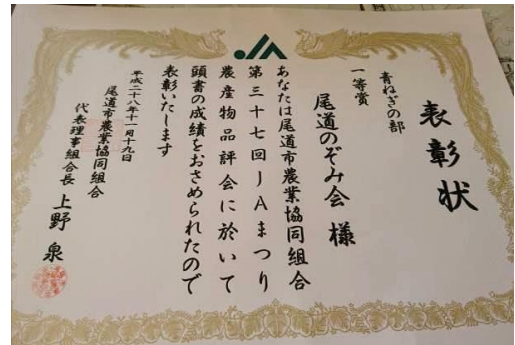
これをキャッチコピーに販売を拡大してはどうかと青ネギをつくっている人達に話をすると、「常にこの品質を保っている訳ではないのでできない。」と職人氣質の回答が返ってきました。気にしなくもいいレベルじゃないかと素人目には思うのですが…、こだわりがあるのでしょ。ちなみにネギ販売の主力はカットネギです。

それと今日(12月22日)は、例年よりひと足早く餅つき大会をしています。あいにくの雨ですが、皆白い息を吐きながら地域の方やボランティアの皆さんとともに「そりゃ！そりゃ！」と餅つきを楽しんでいます。最近では衛生面がうるさく言われて餅つきをしていないところが多くあるそうで、地域の方から「おたくがしてくれるからありがたい」と言葉をいただきました。利用者の皆様も笑顔になりますし、こういった行事はやっぱり楽しいものです。

2016年は公私共に浮き沈みの激しい年でした。詳細は割愛しますが、「とにかく疲れた」が今年の感想です。社会福祉法人制度改革に係る今後の対応等も控えていますので、もうひと踏ん張りせねばなりません。仕事については少しでも楽が出来るように、後進を育成して全て任せ、ソファに腰掛けストーブの前でゆっくりと読書に浸れるゆとりのある生活を送りたいと夢見ていますが、まだまだ遠い未来のことになりそうです。

来年のリフレッシュセミナーは北海道とか。行けるかどうかわかりませんが、もし行けるようなら皆様にお会いできることを楽しみにしています。その際は、どうぞよろしくお願いします。

では皆様、良いお年を。



## 3. 一年が駆け足で過ぎていきます。

### エスポアール出雲クリニック 高尾 由美子

今年を振り返って、一番の出来事は義母の脳出血です。もともと認知症があって、毎月のクリニックの啓発活動「交流塾」で、認知症の本人の気持ち「言葉が出にくい」「同じことを何回も話す」…これについて心理社会的構造「からくり」の話を聞きながら、対応が出来ていない自分を責める事しばしばでした。その義母が脳出血になったのです。予兆にも気がつかない。たまたま土曜日の夜の出来事で救外に駆けつけて入院となりました。現在もリハビリ中ですが、麻痺もあり在宅は厳しいと考えています。認知症も進んで「家に帰りたい」と訴える義母に対して、心が痛くなるばかりです。併せて、自分自身の体力の衰えを感じています。もう若くはないので、自分の健康管理に努めて新年を迎えたいと思います。

ちょっと暗い話になってしまいましたが、自分のリフレッシュは大事に思っています。皆様、どうぞ、良いお年をお迎えください。

## 4. 一来年もよろしく願いますー

### NPO 法人たんぼぼの会 スローカフェタンポポ 安田 真里

皆さん、ごぶさたしています。今年は春に、大西暢夫監督の映画「家族の軌跡～3.11の記憶から～」の上映会を開いたり、宇和島のリフレッシュセミナーに参加させてもらって元気ももらったり、不安定な体調ながらも充実した一年でした。年齢を重ねるごとに、自分がやりたいこと、役割などが見えてきてしまうのですが、エネルギーと実力が伴わず、悩むことも多いです。そんな中、たくさんの知り合いの当事者の方から私は「愛とエネルギー」をもらって、一日一日を過ごせているよう



に感じています。昔、谷中先生にそんなことを言ったら、「それは違うよ」と言われた記憶がありますが、谷中先生にもっと深く教えてもらったら良かったなあ、と今さらながら思います。

先日から通所されている方が、精神科病院に10年も入院されていた方で、その方の人生を思う時、私たちがやらなければならないことは、たくさんある、と考えさせられています。

微力ですが、来年もぼちぼちとがんばっていきたいと思います。



## \* 第11回イタリア地域精神保健視察・研修 実施報告(2)

### 1. イタリア地域精神保健視察ツアーの感想

公益財団法人正光会 御荘診療所

精神保健福祉士 福田 真理

ソーシャルワーカーとして、社会人として1年目。まさか自分が海外へ研修に行く機会を与えて頂けるなど、想像もしていませんでした。知識も経験もほとんどない私は、落ち着いてこれまでの報告書に目を通すこともできないまま、「とにかく行ってみよう」という気持ちで出発しました。

今回はトリエステ、ヴェローナ、アレツォ、ヴァルディキアーナで視察を行い、各地域の精神保健センターや救急センター、グループホーム等を訪問しました。医療制度や歴史的背景等、日本との違いについて初めて知ることも多くあったのですが、私がイタリアで一番印象強く感じたのは、「本人による選択と決定」を重視し、実践しているということでした。ガンビニ精神保健センターでは、「患者さん本人で決める権利や、患者さんが思いを言う権利を取り戻すことに焦点をあてている」とのお話を伺いました。また、コルトーナの精神保健センターでも、リハビリテーションのプログラムは本人と相談して決められ、一人ひとりに合わせた個別のプログラム内容となっていました。個別性を重視する必要性は自覚しているつもりでしたが、実際にそのような関わりができていたのか、「病気」以上に「本人」へ関心を持つことができているのだろうか、視察を通して何度も自らの日々の支援について考えさせられました。



ガンビニセンター外観と研修

グループホームを訪れた際には、いきいきとご自分の生活や思いについて語る当事者の方々にお会いでき、「僕の人生だから僕が決めるんだ」と、私達に熱く語って下さった方もいました。そのように自分の生活や人生について前向きに捉え、語る事ができるのはとても素敵だなと感じました。しかし、お会い

したほとんどの方が言語化して語ることでできる方であり、日本において重度慢性と言われるような症状の重い方にお会いしたり、お話を伺ったりすることはできませんでした。そういった症状が重度の方をどのように支援されているのか、精神保健センターによる訪問支援の説明等を聞いても、なかなかイメージができず、今回のツアーの中だけでは十分に理解することができませんでした。

イタリアでの10日間の研修に参加するということは、私にとって大きな不安と緊張を抱えてのチャレンジでもありました。日本国内でも、知らない土地に一人で行った経験がほとんどない私でしたが、イタリアで歴史的建造物の数々を目にして圧倒されたり、言語や食事、風景等日本とは全く違う文化に触れたことで、視野を広げ、様々な体験をすることの楽しさと魅力を存分に感じる事ができました。今回のツアーへの参加は、これまでごく狭い視野で物事を考えていた私にとって、自分自身の成長をはっきりと感じられる体験となりました。そして、「不安を抱えながらも挑戦することを通して成長できる」という体験の重要性を私自身が実感できたからこそ、今後実践の中で目の前の患者さん・利用者さんに対しても、そうした体験をするチャンスを大切にしていきたいと強く思っています。そのように考えると、このツアーへの参加は私にとってとても意味のあるものになったのではないかと思います。

たくさんの方の協力と応援があったからこそ、私はこのツアーに参加することができました。そしてツアー中も、仁木さんご夫妻や通訳の方をはじめ、参加者全員の方に何かと助けて頂き、無事にツアーを終えて帰国することができました。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## 2. 第 11 回イタリア地域精神保健視察ツアーから思うこと

公益財団法人正光会 御荘診療所

看護師 三好 啓友

看護師免許を取得して 1 年半、正直なところ障害福祉・精神科領域に関して未だ勉強不足を痛感している私に急遽このツアーの話が持ちかけられた。日本の制度もままならないのにイタリアに行って理解し、何かを得られるのだろうか——そして海外旅行に行ったことすらない自分が 10 日間も異国の地で研修がまともにできるのだろうか——そんな不安を拭いきれないままの私を乗せて無情にも LH717 便は飛び立った。

目的地に着いた私はまずイタリアの街並み、その色彩感覚に目を奪われてばかりだった。統一感があり派手なようであるさくない住宅街、歴史を感じさせる荘厳な建物がずらりと並ぶ風景に圧倒され、既に私は単なる観光客と化していた。外観だけでなく内装の美しさにも心踊らされ、トリエステのガンビニ保健センターやジェンダープロジェクト事務所、ヴェローナの南ヴェローナ精神保健センターなどを見ても利用者やスタッフにとって居心地の良さが伺える雰囲気を感じた。「古い建物をリサイクルしてもオシャレに見えてしまうイタリアはずるい」と思わずにいられなかったが、そこは自分たちのセンスを磨くしかないのだろうと黙ってシャッターを切り続けた。



南ヴェローナ精神保健センター

トリエステの社会協同組合の中のリハビリテーションと住居部門にて、ロベルト・コラビエトロ先生は「精神医学とは何なのか？ そんなありもしないもので人を分けているのではないだろうか？」と若くして疑問を持ち、最終的に「精神医学はエセ科学だ」と言い放つ。イタリアに来て最も印象深く残った言葉だ。医療従事者の立場としてこの言葉は衝撃的ではあったが腑に落ちてしまう面があったのも事実である。看護科で学んだことが現在携わっている領域とどれだけ重なっていたらだろうか。PSWの間では常識中の常識であるバイステックの 7 原則も恥ずかしながら最近知った。訪問看護において医学的アプローチで話を聞くことがメインになりがちであるが、心理社会的な技術を自分がどれだけ持ち合わせていたかどうかと気付かされる。精神科看護師がこの領域でやっていくには基本かつ重要な姿勢が欠落していないだろうか、患者を「管理」「コントロール」しようとする看護師のイメージから疑問が浮かぶ。



ロベルト・コラビエトロ先生

個人的に興味深かった話はコルトーナ保健の家にある精神保健センターのボルゲージセンター長の講談の中でもいくつかあった。認知神経学的にみて精神疾患はトラウマティックな記憶による脳内の損傷が原因であり器質的・臨床的に証明できるのではと期待されている。また、心理士がみつけてきた認知回復学による 40 のセッションを取り入れるなどプログラムを入れ替えては検討し不要なものを削るといったフレキシブルな組織の在り方、それぞれの職種がクリエイティブかつ積極的に新しいことにチャレンジするという精神、スタッフ側だけではなく当事者たちの視点も取り入れつつプログラムを構成していこうとする姿勢など、当たり前のことを当たり前になし、学び続けている様子が羨ましく感じた。



コルトーナ保健の家

日本に帰り、あるテレビ番組で身体障害をもつ競泳選手の一ノ瀬メイ選手が次のように述べていた。「私からしたら腕がないのが障害じゃなくて、それを持って生きていく社会が害」。呉秀三の言葉から約 100 年、19 歳の少女にこう言わせてしまう日本社会はどれだけ変わってきたのだろうか。「ノーマライゼーション」や「こころのバリアフリー宣言」という言葉が世に出されてから久しいが依然として根深い何かを社会から掘り起こせずにいるようではない。イタリアの余韻がフェードアウトしていく中、そうしたモヤモヤが巡り私の頭の中の整理を追いつかなくしている。しかし時間はまだかかるにしても、イタリアで学んだことは確実にこれからの自分を成長させる糧になると実感している。



ボルゲージ先生

## \* 事務局からのお知らせ

### 2016 年度総会 実施報告

予定通り 2016 年度定時総会が開催されましたので、議事録をもって開催報告とさせていただきます。決算報告等の内容は、次ページに掲載しますので、ご確認ください。



#### 2016 年度 年次総会 議事録

1. 開催日時 12 月 3 日(土) 14 時～16 時
2. 場所 協会事務所
3. 2016 年度正会員数 83 名
4. 出席者(委任状提出) 8 名(47 名):計 55 名
5. 議案
  - 第 1 号議案 平成 27 年度事業決算報告
  - 第 2 号議案 平成 28 年度事業計画と実施状況報告
  - 第 3 号議案 平成 29 年度予算案
  - 第 4 号議案 理事会報告(住所変更と理事長退任の件)
  - 第 5 号議案 住所変更に伴う定款変更の件
  - 第 6 号議案 議事録署名人の選出
6. 議事の経過及び結果
  - ① 仁木美知子理事長が挨拶ののち、会議が有効に成立した旨を告げ開会の辞を述べた。
  - ② 議長選任について諮ったところ、満場一致をもって理事長を選任した。
  - ③ 第 1 号第 2 号第 3 号議案について議長は説明・審議後、承認を求めたところ満場一致で異議なく承認可決した。
  - ④ 第 4 号議案について、理事会にて赤羽事務所を閉鎖して新事務所に移転する旨と、理事長の退任の報告がされた。新理事長選任までは現理事長が業務を継続することも同時に報告された。また半田理事が退任・退会したことが報告された。
  - ⑤ 第 5 号議案について議長は説明・審議後、承認を求めたところ満場一致で承認可決した。
  - ⑥ 第 6 号議案について、議長は議事録署名人に本日出席の大田佳代氏と橋本周治氏を指名したところ、満場一致で異議なく承認された。
  - ⑦ 議長は、以上をもって本日の議事が全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。



—編集後記— 2016 年が過ぎ去ろうとしています。テレビは SMAP の解散騒動に揺れ 26 日の SMAP×SMAP 最終回で幕を閉じたかと思いきや 27 日のワイドショーは挙って SMAP を取り上げています。リオオリンピックや PPAP など楽しい話題も多い年でしたが、忘れてはならない事件が 7 月に相模原で起きてしまいました。皆様の業務にも多かれ少なかれ影響があったことと思います。協会は今年から来年にかけて大きく変わろうとしています。それは仁木美知子代表の退任と赤羽事務所の閉鎖です。でもこの変化は、協会の継続性を考え次の世代に活動を繋いでいくための前進のための改革なのです。協会活動のテーマである「本音で語り合える機会と場の提供」「燃え尽きることの無いようにリフレッシュやエンパワメントの機能を考えた事業の展開」を、14 年間で培ってきた活動をベースに、若い力で活性化していただけることを願っています。

最後になりましたが、今年一年大変お世話になりました。来年も宜しくお願いします。(Mamoru.Niki)

〒115-0045 北区赤羽2-45-8ファーストビス赤羽205 TEL/FAX03-5939-9603

平成27年度 活動報告書(抄)

科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費	872,000	872,000	
2 受取寄附金	100,750	100,750	
3 受取助成金等	0	0	
4 事業収益	8,382,750		
5 その他収益	153	8,382,903	
経常収益計			9,355,653
II 経常費用			
1 事業費	8,249,296	8,249,296	
2 管理費	2,173,009	2,173,009	
経常費用計			10,422,305
当期経常増減額			△ 1,066,652
III 経常外収益			0
IV 経常外費用			0
税引前当期正味財産増減額			△ 1,066,652
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			△ 1,066,652
前期繰越正味財産額			688,681
次期繰越正味財産額			△ 377,971

平成28年度 活動報告書進捗報告(平成28年1月1日~9月30日)

科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費	789,000	789,000	
2 受取寄附金	0	0	
3 受取助成金等	0	0	
4 事業収益	3,312,000		
5 その他収益	71	3,312,071	
経常収益計			4,101,071
II 経常費用			
1 事業費	2,438,490	2,438,490	
2 管理費	1,215,286	1,215,286	
経常費用計			3,653,776
当期経常増減額			447,295
III 経常外収益			0
IV 経常外費用			0
税引前当期正味財産増減額			447,295
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			447,295
前期繰越正味財産額			△ 377,971
次期繰越正味財産額			69,324

活動報告書進捗報告に対する説明

平成27年度負債は、経費削減効果により9月30日時点で解消しており、年度末には正常運営になる予定。

平成29年度予算に関して

I 経常収益 (受取会費・事業収益)		
1 受取会費	900,000	
2 事業収益	6,000,000	
経常収益計		6,900,000
II 経常費用	6,800,000	6,800,000
当期経常増減額		100,000

平成28年度以降は経費削減効果が表れ、単年度で収支はコンスタントにプラスとなる予定。

以上